

戦略Ⅰ 温室効果ガスを排出しない都市構造への転換

① 歩くまち・低炭素都市づくりプロジェクト

「歩くまち・京都」
総合交通戦略の推進

- 京都駅南口駅前広場の整備
- 四条通の歩道拡幅と公共交通優先化
- 東大路通の自動車抑制と歩道拡幅
- パークアンドライドの通年実施
- 市内公共交通の共通乗車券の創設
- 自転車利用環境の整備と都市型レンタサイクルの普及



京都らしいエコ・コンパクトな
都市づくりの推進

- 低炭素都市づくりに向けた次期京都市都市計画マスタープランの策定
- 都心地域の建造物駐車場附置義務制度の見直し
- カーシェアリングの更なる普及

森林の適切な保全と
地域産木材の活用

- 「平成の京町家」の普及促進
- CASBEE京都による環境性能の高い建築物の普及促進
- 地域産木材ストック情報システムの整備



戦略Ⅱ 環境と経済が融合する社会経済システムの構築

② グリーンエコノミー創出プロジェクト

グリーンイノベーションの推進

※1 SBIR (Small Business Innovation Research)
中小事業者による研究開発とその成果の事業化を一貫して支援する制度のこと。

- 低炭素社会の実現を先導する環境知恵産業(環境・エネルギー関連産業)のブランド化
- 付加価値の高い新産業を創造する京都版SBIR(※1)

スマートコミュニティの構築

- 再生可能エネルギー(太陽光・太陽熱・小水力・木質バイオマス)の導入促進
- らくなん進都、岡崎地域等における総合特区制度を活用した新たなエネルギーマネジメントシステムの構築
- 市民協働発電制度(※2)の実施



環境価値の「見える化」による
省エネ促進

※2 市民協働発電制度: 単独での太陽光発電設備の設置が困難な市民を対象とした、複数の市民が共同で出資することによって太陽光発電設備を設置する制度。

- 「DO YOU KYOTO?」クレジット制度の創設
- オフセット観光(※3)の推進
- カーボンフットプリント(※4)の活用による環境価値の見える化の促進



※3 オフセット観光: 移動や宿泊の際に排出されるCO2を、クレジットの購入等によってオフセットした観光の形態。クレジット購入等の費用は代金に乗せられる。

※4 カーボンフットプリント: 商品・サービスのライフサイクルの各過程で排出された温室効果ガスの量を、CO2量に換算して表示すること。

戦略Ⅲ 環境にやさしいライフスタイルへの転換

③ エコライフコミュニティ創出プロジェクト

地域からのエコライフの発信

- エコ学区、エコ商店街など新たなエコ・コミュニティの創設

新たなエコスタイルの提案

- 京朝スタイルの普及
- 農林水産物の地産地消による環境に配慮した食生活の普及

循環型社会システムの構築

- 包装材削減推進京都モデルの構築
- 生ごみ、廃食用油等の廃棄物バイオマスからのエネルギー回収



環境共生と低炭素のまち・京都
(スマートシティ京都)

